
まさか

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まさか

【Nコード】

N1949M

【作者名】

朔架

【あらすじ】

コンビニであつたほんとの話。
仕事はきっちりやりましょう。

それは、テストが終わって昼飯をコンビニに買いに行った時のことだった。

そうだなあ…。

おにぎり2個と、春雨スープにしようかな…。

あ、ワントン入りにしよう。

レジに並ぶ。

これは普通のこと。

「450円になります。」

「ちょうどお預かりいたしますー!。」

ビニール袋に品物を入れてもらう。

ん? ストロー?

「あの、ストローはいらないです…。」

「え? あら、ごめんなさい。箸よねえ? ストローじゃ火傷しちゃうわ。」

…否、火傷以前の問題な気が…。

後日

友人に話してみた。

「きつとあんたなら、ワントン吸えると思ったんじゃない?」

「いや、無理だから。誰だって無理だから。」

「きつと出来るよ!」

「あんたがやんなさい!」

お願いします。

袋の中には必要なものを入れてください。
ストローでスープは食べれません…。

（後書き）

ども、朔架です！。

実話です。高校の時にほんとにありました。

焦りましたよ。なんで、ストロー！？って感じで。

なにせ買ったのは、おにぎりと春雨スープ。

あとデザート（よくミツ　で売ってるもの）だったんで。

ストロー関係なくね？みたいな。

後日談も実話です。

友人に言われました。

やれるわけないでしょって言いましたね。

絶対ワンタンがつまりますよ。

やれる！とか思った人は試してください。

そして感想をぜひ！

著者はやらないですけどねー^^

では、また別の作品で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1949m/>

まさか

2010年10月11日09時16分発行